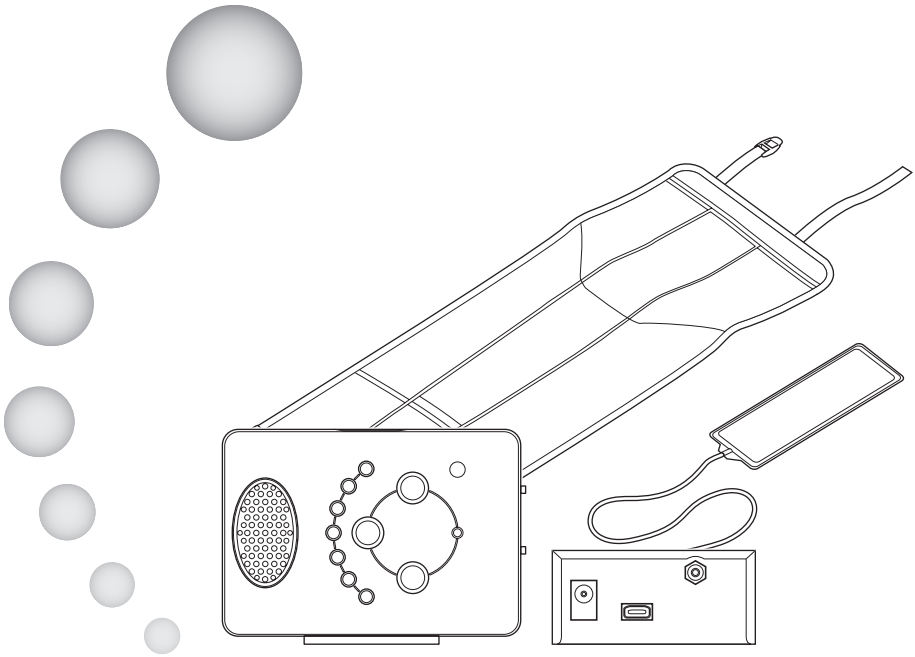
ifbrand

Trywin

ドライビングモニター Dramoni

TS-U10

取扱説明書（保証書付き）



この度はトライウイン ドライビングモニター Dramoni（ドラモニ）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に『安全上のご注意』（3 ～ 5 ページ）は、ご使用の前に必ずお読みいただき安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも取り出せるところに巻末の『保証書』とともに大切に保管してください。

この商品は、海外ではご使用になれません。　For use in Japan only.

目次

安全上のご注意 3
使用上のご注意 6
商品構成一覧 6
本製品を取り付ける 7
本体を取り付ける 7
表示部を取り付ける 8
シートマットを取り付ける 10
表示部の名称と働き 12
側面 12
前面 12
基本的な操作 13
電源を入れる／切る 13
明るさを調整する 13
音量を調整する 13
注意音／警報音を切り換える 14
警告レベルについて 15
オリジナル警報音を録音する 17
故障かなと思ったら 18
仕様 19
保証とアフターサービスについて 19
保証書 ..... 裏表紙

本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は株式会社エム・アイ・ラボの特許に基づいて製造されています。
株式会社エム・アイ・ラボ Web ページ：http://www.mi-labs.co.jp/

Sodiac は株式会社アレックスの提供する音声合成ミドルウェアです。

本書に記載の社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意（よく読んで必ずお守りください）

お使いになる本人や周囲の人々への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠ 注意	**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。**

■ 絵表示について

この記号は、注意をしなければならない内容を表しています。枠の中や近傍に具体的な注意内容が描かれている場合もあります。

この記号は、禁止される行為を表しています。枠の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれている場合もあります。

この記号は、行わなければならないことを表しています。枠の中や近傍に具体的な注意内容が描かれている場合もあります。

⚠警告

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けないでください

運転に支障をきたす場所（ハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル付近など）への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けないでください

エアバックの動作を妨げる場所への取り付けは、緊急時のエアバックの不動作やエアバックが膨らむ際に本機が外れて交通事故やけがの原因になります。

配線・取り付け／取り外しは、専門技術者にご依頼ください

取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

DC12V マイナスアース車で使用してください

DC12V マイナスアース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車（DC24V 車）には使用できません。火災や故障の原因となります。

コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように引き回してください

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故や、けがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

はずれたり・落下しないように、しっかり取り付けてください

ねじが緩んでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故や怪我の原因になることがあります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめてください

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザードウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付けてください

車体やダッシュボードに穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください

バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

⚠警告

ぬらしたりしないでください

水濡れ禁止

火災や感電の原因となります。

異物を入れないでください

機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

故障や異常のまま使用しないでください

煙が出る、異臭がするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

直ちに使用を中止してサポートセンターにご相談ください。

分解や改造はしないでください

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理はサポートセンターにご依頼ください。

正しく配線を行ってください

誤った配線をすると発火や事故の原因となります。

特にリード線がねじやシートレールの可動部分にかみ込まないよう整形し、固定してください。

⚠注意

車載用以外には使用しないでください

車載用以外 (例えばレジャーボートやアウトドアなど) に使用すると、発煙・発火・感電やけが、故障の原因になる場合があります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり、傷つけないでください

ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けないでください

傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

水がかかる所やほこりの多い所に取り付けないでください

火災や感電の原因となることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用してください

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります

決められたヒューズを使用してください

必ず規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

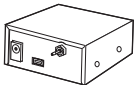
使用上のご注意

本製品は不注意運転の警報を目的とした製品ですが、本製品を取り付けることによって事故防止を保証するものではありません。
また、ドライバーの動きや道路状況により不注意運転を正しく感知できない場合があります。
本製品を使用中の不注意運転による車両事故に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転の補助的役割としてご使用ください。

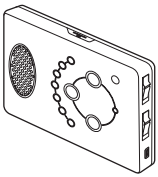
商品構成一覧

本製品には下記のものが同梱されています。取り付けの前に必ずご確認ください。
万一、不足がある場合は、弊社のサポートセンターまでご連絡ください。

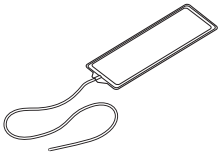
●ドラモニ本体



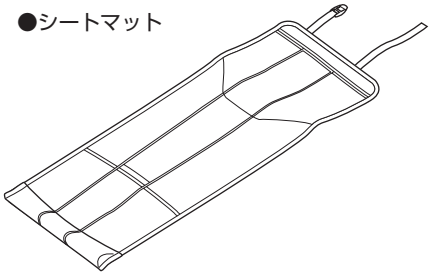
●表示部



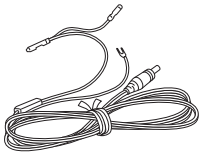
●エアーマット



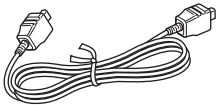
●シートマット



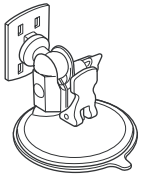
●電源用コード



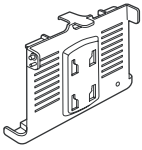
●専用コネクター



●取付キット



吸盤付きステー



表示部固定ホルダー

吸盤ベース

●マジックテープ

本体用
（30 × 40 mm、1 組）

表示部用
（20 × 80 mm、2 組）

●取扱説明書
（保証書付き）

付属品の仕様および概観は、改良のため予告なく変更することがあります。
この取扱説明書のイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

本製品を取り付ける

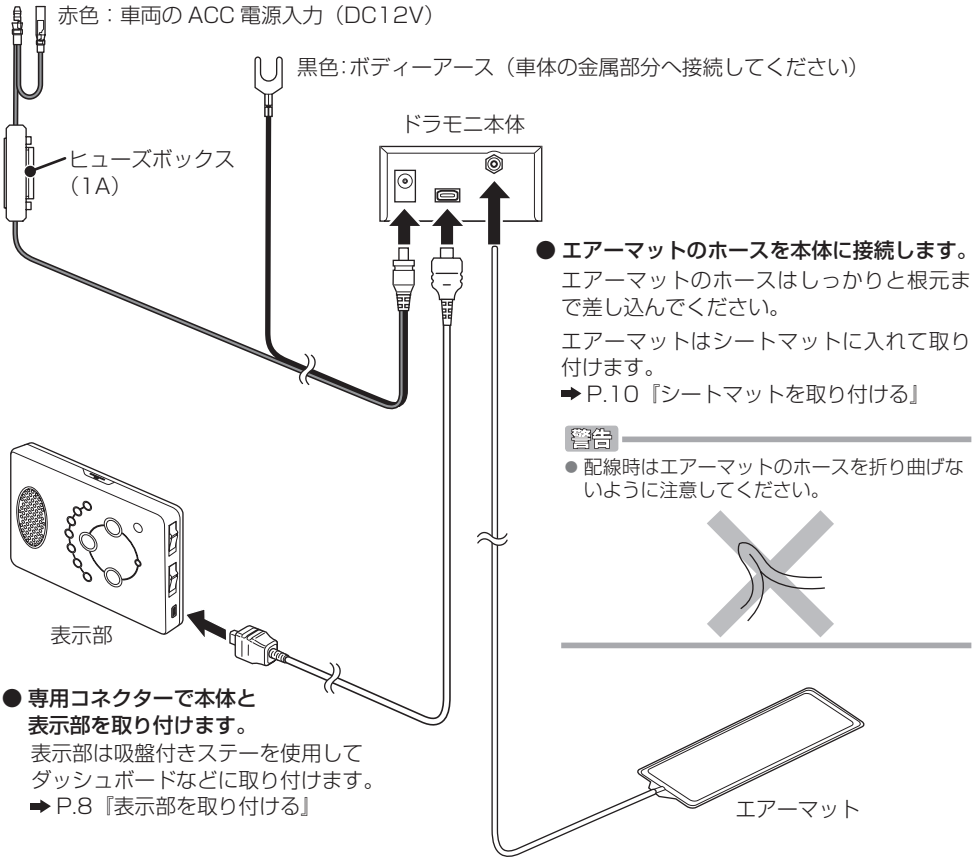
本体を取り付ける

本製品の設置には専門知識が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

警告

- 本体は運転席の下など運転の妨げにならない場所に設置してください。
- 本体はお車のフロアマットの下に取り付けないでください。火災の原因となります。
- 付属のマジックテープを利用して、外れたり落下しないようにしっかり本体を固定してください。
- 水がかかるところ、足で踏まれるところ、ほこりの多いところ、直射日光のあたるところ、ヒーターのダクトや発熱する物の近くには取り付けないでください。故障の原因になります。
- 電源はバッテリーに直接接続しないでください。バッテリー上がりの原因になります。
- 運転席シートを動かしたり、ハンドルやシフトを操作するときに、コードやホースが挟み込まれないように配線してください。
- 配線時はコードやホースを強く引っ張ったり、折り曲げたりしないように注意してください。断線の原因となります。
- コードやホースの抜き差しは、必ずコネクター部分やホースの先を持って行なってください。強く引っ張ると断線の原因となります。

● 電源コードで本体と車を取り付けます。



● エアーマットのホースを本体に接続します。

エアーマットのホースはしっかりと根元まで差し込んでください。

エアーマットはシートマットに入れて取り付けます。

➡ P.10『シートマットを取り付ける』

警告

- 配線時はエアーマットのホースを折り曲げないように注意してください。

● 専用コネクターで本体と表示部を取り付けます。

表示部は吸盤付きステーを使用してダッシュボードなどに取り付けます。

➡ P.8『表示部を取り付ける』

表示部を取り付ける

■ 取付キットを使って取り付ける

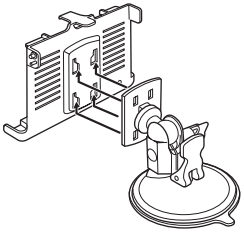
ここでは、付属の取付キット（吸盤付きステー、表示部固定ホルダー、吸盤ベース）を使って、車両のダッシュボードなどに取り付ける方法を説明します。

警告

- 運転に支障となる場所には取り付けないでください。交通事故やけがの原因となります。
- シートベルトやエアバックなどの安全装置の働きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が働かず、けがの原因となります。

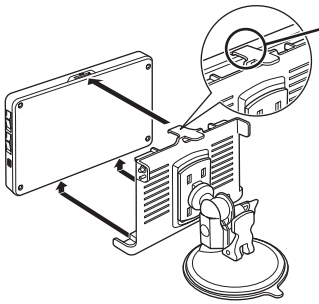
1 吸盤付きステーと表示部固定ホルダーを取り付ける

「カチッ」という音が鳴るまで表示部固定ホルダーを下側にスライドします。



2 表示部を表示部固定ホルダーに取り付ける

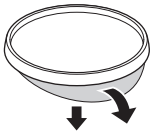
表示部下側から表示部固定ホルダーにはめ込み、次に表示部上側をはめ込みます。



表示部の凹部（上側 1 ヵ所、下側 2 ヵ所）に表示部固定ホルダーのツメ部分が確実に入るようにしてください。

3 吸盤ベースを貼り付ける

吸盤ベースの底に付いているテープをはがし、吸盤ベースをダッシュボードの平らな場所に貼り付けます。

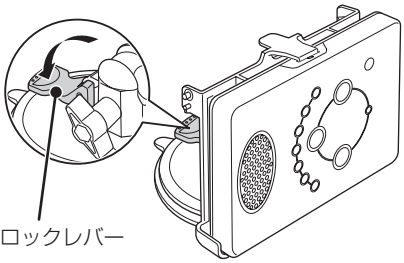


お願い

- 吸盤ベースを貼り付ける前に、貼り付ける場所に付着しているほこりや油分、水分などをきれいな乾いた布で取り除いてください。
- 吸盤ベースはテープにより固定されます。したがって、一度吸盤ベースを貼り付けると取り外しが困難になりますので、貼り付ける位置は慎重に選んでください。
- 一度取り外した吸盤ベースは粘着力が低下しています。再度のご使用は避けてください。本製品が落下して、故障やけがの原因となります。

4 吸盤付きステーを吸盤ベースに取り付ける

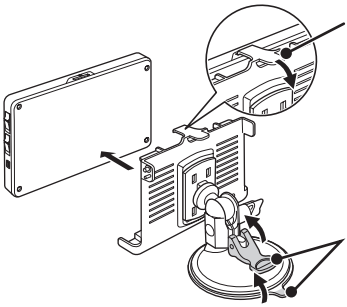
吸盤付きステーのロックレバーを押し下げます。



警告

- 取り付けの際には、必ず付属している器具や部品で取り付けてください。ほかの器具や部品を使うと、本機の脱落や本製品を破損する恐れがあります。
- 吸盤付きステーの吸着力が低下してきた場合は、吸盤部分にほこりや汚れが付着している可能性があります。その場合は、ダッシュボードの上をきれいにし吸盤部分に付着した汚れを綺麗に水で洗い流してください。その後、日陰でしっかり乾燥させてから、ご使用ください。

●表示部と吸盤付きステーを取り外すときは



表示部を取り外すときは、表示部の凹部から表示部固定ホルダーのツメ部分が外れるように押し下げてしてください。

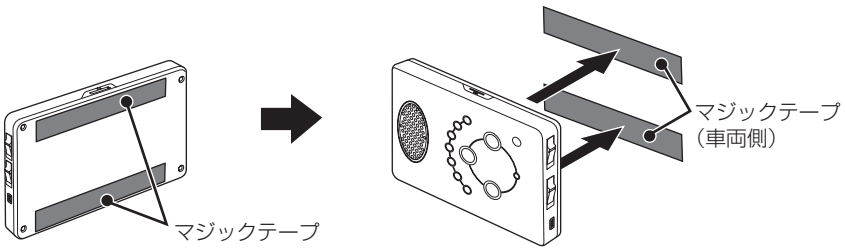
吸盤付きステーを取り外すときは、ロックレバーを押し上げてから、吸盤部分のタブを上に引っ張ってください。

■ マジックテープを使って取り付ける

付属のマジックテープを使って取り付けることもできます。
表示部の背面と車両のダッシュボードなどにマジックテープを貼り付けて、取り付けてください。

警告

- 運転に支障となる場所には取り付けないでください。交通事故やけがの原因となります。
- シートベルトやエアバックなどの安全装置の働きを妨げる場所には、取り付けないでください。
  事故の際に、安全装置が働かず、けがの原因となります。

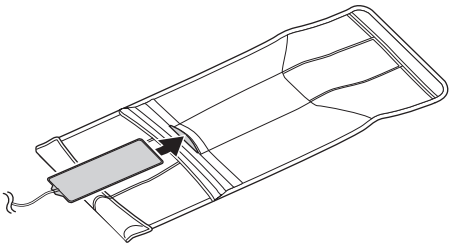


シートマットを取り付ける

エアーマットをシートマットに入れて、シートマットを運転席シートに取り付けます。

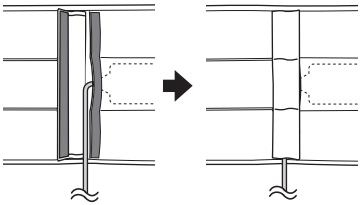
1 エアーマットをシートマット（裏側）に入れる

マジックテープをはがし、シートマットのポケットにエアーマットを入れます。



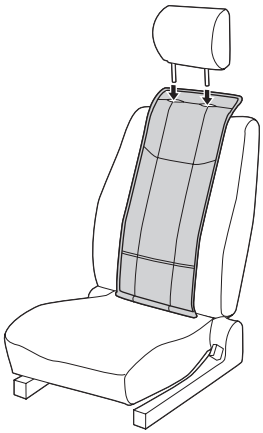
お願い

- マジックテープを閉じるときは、エアーマットのホースを挟まないように注意してください。



2 シートマットの表側を上にして、車の運転席シートに取り付ける

いったんシートのヘッドレストを取り外し、シートマットを取り付けます。

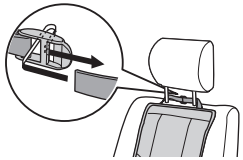


警告

- 配線時はエアーマットのホースを折り曲げないように注意してください。

メモ

- シートが高い場合は高さ調整ベルトを利用して、ヘッドレストのポールにかけてシートマットを取り付けてください。
  シートの高さに合わせて、高さ調整ベルトの長さを調整してください。



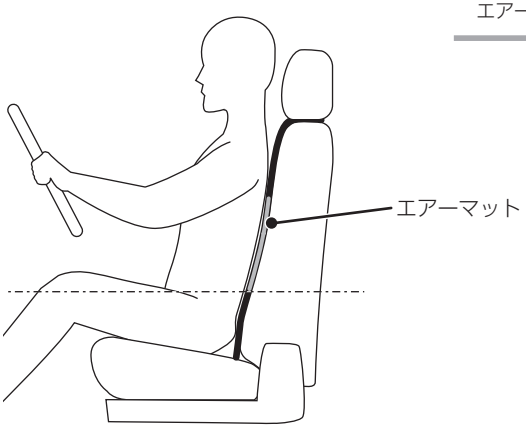
3 エアーマットの位置を調整する

ドライバーの体形に合わせて、エアーマットの位置を調整してください。

エアーマットの底辺をドライバーの腰（ベルトの位置辺り）に合わせます。

メモ

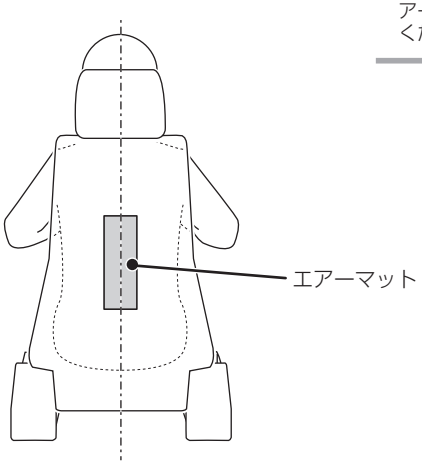
- エアーマットの底辺が運転者の腰まで届かない場合は、高さ調整ベルトの長さを調整して、エアーマットの位置を調整ください。



エアーマットの中心を運転者の中心（背骨辺り）に合わせます。

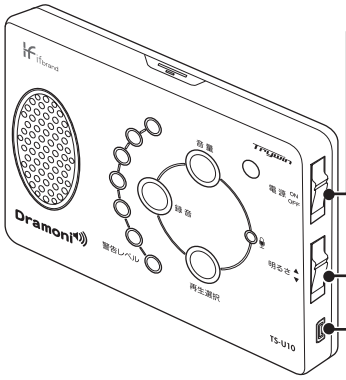
お願い

- エアーマットの位置を調整するときは、エアーマットのホースを無理に引っ張らないでください。



表示部の名称と働き

側面



電源スイッチ
電源をオン／オフします。
➡ P.13『電源を入れる／切る』

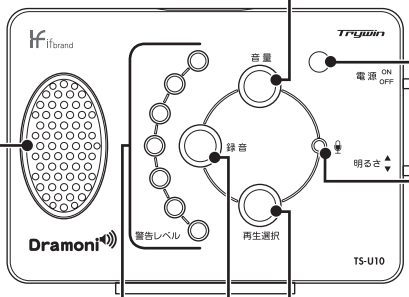
明るさスイッチ
警告レベル LED の明るさを
切り換えます。
➡ P.13『明るさを調整する』

表示部コネクター端子
表示部コネクターを接続します。
➡ P.7『本体を取り付ける』

前面

内蔵スピーカー
ここから音声が出ます。

音量ボタン
音量を切り換えます。
➡ P.13『音量を調整する』



電源 LED
電源が入っているとき、緑色に点灯します。

内蔵マイク
オリジナル警報音を録音するとき、
ここに向けて話します。
➡ P.17『オリジナル警報音を録音する』

警告レベル LED
警告レベルの状態や、設定を
点灯／点滅でお知らせします。
➡ P.15『警告レベルについて』

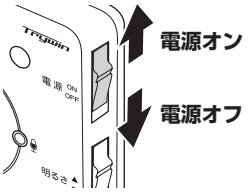
再生選択ボタン
注意音／警報音を切り換えます。
➡ P.14『注意音／警報音を切り換える』

録音ボタン
オリジナル警報音を録音するときに使用します。
➡ P.17『オリジナル警報音を録音する』

基本的な操作

電源を入れる／切る

電源スイッチを上側にすると電源がオン、下側にするとオフになります。



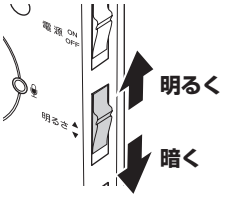
電源を入れると電源 LED が点灯します。
同時にすべての警告レベル LED が 2 回点滅し、ブザー音が流れます。
走行を開始するまでは、いったん警告レベル LED がすべて消灯します。
走行を開始すると警告レベル LED のレベル 1 が点灯し、自動的に意識レベルの測定を開始します。

メモ

- 各設定を行ったあとも、自動的に意識レベルの測定を開始します。
- 本製品を使用しないときは、電源スイッチを下側にして電源をオフにしてください。

明るさを調整する

警告レベル LED の明るさを切り換えることができます。
明るさスイッチを上側にすると明るく、下側にすると暗くなります。

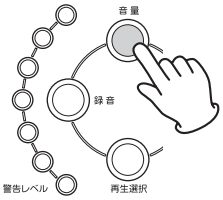


メモ

- 電源 LED の明るさは切り換わりません。

音量を調整する

音量ボタンを繰り返し押して、音量を切り換えます。
音量は「小」、「中」、「大」から選ぶことができます。



音量を切り換えると、チャイム音が流れます。
また同時に警告レベル LED が点灯します。

小 警告レベル 1 からレベル 4 までの LED が点灯します。
↓
中 警告レベル 1 からレベル 5 までの LED が点灯します。
↓
大 警告レベル 1 からレベル 6 までの LED が点灯します。

メモ

- お買い上げ時は「小」に設定されています。
- オリジナル警報音を録音しているときの自動再生の音量は切り換えられません。

注意音／警報音を切り換える

注意音／警報音は下記の３パターンから選ぶことができます。

パターン A

警告レベル６（注意音）	**グウィーン・グウィーン（チャイム音） 運転にご注意ください 運転にご注意ください お休みを取ることをお勧めします**
警告レベル７（警報音）	**ビビビビビビビ（ブザー音） 非常に注意が必要です そろそろお休みを取りませんか？ お休みを取ることをお勧めします**

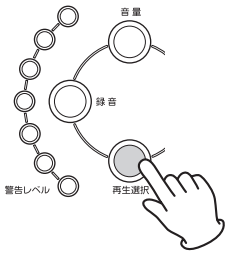
パターン B

警告レベル６（注意音）	**グウィーン・グウィーン（チャイム音） 運転にご注意ください 運転にご注意ください お休みを取ることをお勧めします**
警告レベル７（警報音）	**ビビビビビビビ（ブザー音） ～オリジナル警報音（約５秒間）～**

パターン C

警告レベル６（注意音）	**グウィーン・グウィーン（チャイム音）**
警告レベル７（警報音）	**ビビビビビビビ（ブザー音）**

再生選択ボタンを繰り返し押して、注意音／警報音のパターンを切り換えます。



パターンを切り換えると、注意音／警報音をそれぞれ一回ずつ読み上げます。
また同時に警告レベル LED が点滅します。

パターン A 警告レベル１とレベル６（注意音読み上げ時）、レベル７（警報音読み上げ時）の LED が点滅します。

パターン B 警告レベル２とレベル６（注意音読み上げ時）、レベル７（警報音読み上げ時）の LED が点滅します。

パターン C 警告レベル３とレベル６（注意音読み上げ時）、レベル７（警報音読み上げ時）の LED が点滅します。

メモ

- お買い上げ時はパターン A に設定されています。
- オリジナル警報音が録音されていないときは、パターン B を選べません。
➡ P.17『オリジナル警報音を録音する』

警告レベルについて

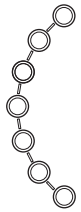
ドライバーは運転しているときハンドル操作やアクセル踏み込み、ミラーなどの視野確認などの基本運転動作を常に行っています。しかし考え事や景色に見とれる脇見、何かをしながらの「ながら運転」などを行うと、運転意識が低下し、基本運転動作が減少します。

本製品はドライバーの脊椎の動きから基本運転動作を電気信号として検出します。電気信号の変化から運転意識および基本運転動作の増減を計測し、警告レベルを表示します。

警告

- ドライバーの動きや道路状況によっては、運転意識および基本運転動作の増減を正しく検出できない場合があります。よって、万一、脇見や居眠り運転など基本運転動作が少ない状態になったとしても、必ずしも警告を行うものではありません。
- 個人差により、警告レベルの表示に差が出る場合があります。
- 本製品を使用中の不注意運転による車両事故に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転の補助的役割としてご使用ください。

■ レベル 0　ー停車中ー

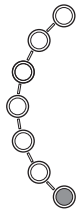


停車中は基本運転動作を行わないため、基本運転動作の検出がリセットされます。
このとき、警告レベル LED はすべて消灯します。

メモ

- 渋滞中などで停車中に意識レベルが低下した場合、警告が発せられる場合があります。
- 停車中でも、呼吸分析による基本運転動作の検出が行われるため、警告レベルが上がる場合があります。

■ レベル 1　ー基本運転動作の計測中ー

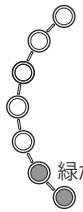


ドライバーの基本運転動作の活動量を計測しています。
電源を入れて走行を開始してから、約 10 分間計測します。

メモ

- 走行を開始する前は、警告レベル LED は消灯しています。信号待ちなどで走行を停止したときも、警告レベル LED が消灯する場合があります。走行を開始すると警告レベル LED のレベル 1 が点灯します。
- ドライバーの基本運転動作の活動量を計測している間は、警告レベル LED のレベル 1（緑）が点灯しています。計測が終了するまでは、他のレベルは表示されません。

■ レベル 2　ー加速／減速運転中ー



発進時のアクセル踏み込みや停車時のブレーキ踏み込みなど、基本運転動作の増減が大きく検出されている状態です。

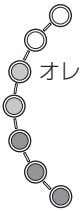
■ レベル 3　ー通常運転中ー

ドライバーが適度な緊張を持ち、多少の基本運転動作を繰り返している状態です。

■ レベル 4　ーリラックス状態ー

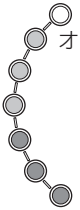
高速道路で運転しているなど、基本運転動作が少なくリラックスした状態です。

■ レベル 5　ー要注意状態ー



基本運転動作がほとんどなく、運転意識が低下して注意力が散漫になっている状態です。

■ レベル 6　ー注意運転状態ー



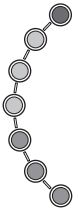
考え事や景色に見とれる脇見、何かをしながらの「ながら運転」、疲労、眠気などによる基本運転動作が非常に少ない状態です。

注意音が鳴り、注意をうながします。

メモ

- パターン A またはパターン B が選ばれている場合は、注意音が 1 回鳴ります。パターン C が選ばれている場合は、注意音（チャイム音のみ）が 2 回繰り返します。（約 10 秒間）

■ レベル 7　ー危険運転状態ー



考え事や景色に見とれる脇見、何かをしながらの「ながら運転」、疲労、眠気などによる基本運転動作が少ない状態が長時間続いています。

警報音が鳴り、注意をうながします。

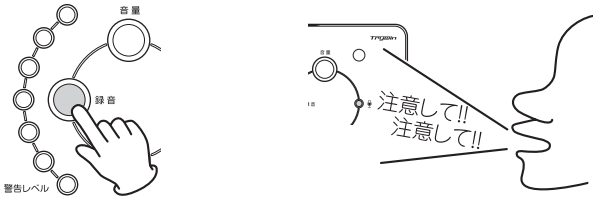
メモ

- パターン A またはパターン B が選ばれている場合は、警報音が 1 回鳴ります。パターン C が選ばれている場合は、警報音（ブザー音のみ）が 5 回繰り返します。（約 10 秒間）

オリジナル警報音を録音する

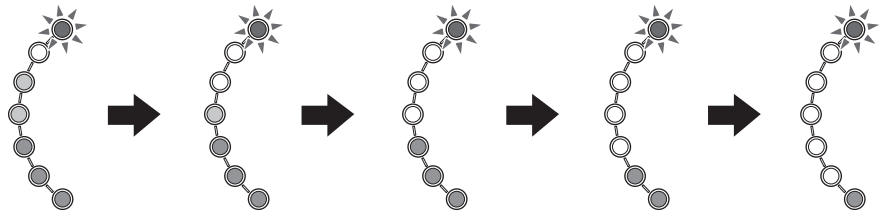
約５秒間のオリジナルの警報音を録音することができます。

録音ボタンを押すと、録音が開始されます。
内部マイクに近づいて、大きな声で録音してください。



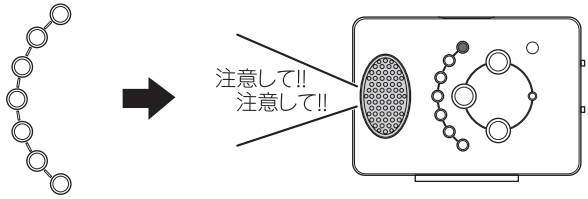
■ 録音中は

警告レベル LED のレベル 7 が点滅します。
また同時にレベル 5 からレベル 1 まで約 1 秒単位でカウントダウン表示します。



■ 録音時間が終了すると

警告レベル LED がすべて消灯します。
また録音終了の約 1 秒後に警告レベル LED のレベル 7 が点灯し、録音した音声が自動的に再生されます。



約 1 秒後

メモ

- オリジナル警報音を録音すると、注意音／警報音は自動的にパターン B に切り換わります。
- オリジナル警報音を録音し直したい場合は、再度録音ボタンを押して、音声を録音してください。新しい音声が上書きされます。
  録音できるオリジナル警報音は 1 つのみです。

故障かなと思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してトライウイン・サポートセンターにご連絡ください。

症状	原因	対処方法	参考ページ
電源が入らない／電源 LED が点灯しない	表示部に電源が供給されていない	車のエンジンが掛かっているか確認してください。	—
		電源スイッチがオンになっているか確認してください。	13
		表示部と本体が正しく接続されているか、専用コネクターがきちっと接続されているか確認してください。	7
		本体と車の電源が正しく接続されているか確認してください。	7
警告レベル LED が点灯しない／警告レベル LED が消灯した	車両が停車している	走行を開始するまでは、警告レベル LED が点灯しません。 信号待ちなど停車時間が短くても、警告レベル LED が消灯する場合があります。 走行を開始すると警告レベル LED が点灯します。	13、15
警告レベルの表示が変わらない	意識レベルを計測している	意識レベル計測中のため、電源を入れて走行を開始してから最初の約 10 分間は警告 LED がレベル 1 表示になります。	15
	エアーマットが正しくセットされていない	エアーマットが正しく背中に当てられているか確認してください。	10、11
	エアーマットが正しく接続されていない	エアーマットのホースと本体がが正しく接続されているか確認してください。	7
通常運転しているのに警告レベルが高い	道路状況が変わった	渋滞が解消された、一般道路から高速道路に入ったなど道路状況が変わった場合、警告レベルが正しく表示されない場合があります。	—
注意音／警報音のパターン B が選べない	オリジナル警報音が録音されていない	録音ボタンを押して、オリジナル警報音を録音してください。	17
オリジナル警報音がうまく録音できていない （音が小さい／途中で途切れている）	内蔵マイクから遠い位置で録音している	マイクの近くで大きな声で録音してください。	17
	５秒間以上録音している	録音時間は約５秒間です。 警告レベル LED のカウントダウン表示に合わせて録音してください。	17
	録音開始より先に話している	警告レベル LED のカウントダウン表示に合わせて録音してください。	17

トライウイン・サポートセンター　TEL：(0570)-030-100　E-mail：support@trywin.co.jp

仕様

品名	ドライビングモニター Dramoni（ドラモニ）
型番	TS-U10
使用電源	DC12 V
消費電力	10 W
動作温度範囲	0 ～+ 55℃
保存温度範囲	− 10 ～+ 65℃
音声出力	2 W
外形寸法	本体　：65.0（W）× 30.0（H）× 72.1（D）mm（突起部を除く） 表示部：113.0（W）× 78.5（H）× 20.0（D）mm（突起部を除く）
質量	本体　：140 g 表示部：112 g

本製品の仕様、デザインは改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービスについて

■ 保証期間について

本製品の保証期間はお買い上げ後 1 年間です。
保証期間中は保証規定に従って修理させていただきます。
保証期間外でも修理により機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理させていただきます。

■ 修理に関するご相談窓口

トライウイン・サポートセンター

電話番号　：0570-030-100
E-mail　：support@trywin.co.jp
受付時間　：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）
　10:00 ～ 18:00
住所　：〒 331-0812
　埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677
Web ページ　：http://www.trywin.co.jp/

ドライビングモニター Dramoni TS-U10 保証書

型名：TS-U10	販売店名・住所・電話番号
お買い上げ日 年　月　日	
保証期間（お買い上げ日から） **1年間**	

お客様	お名前
	ご住所 （〒　—　）
	電話番号 （　）　—

※太線枠内はお客様にてご記入願います。

〈無償修理規定〉
取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。
無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。
（イ）使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）本書のご添付がない場合。
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
（ヘ）持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料等は、お客様のご負担となります。

本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

販売元：株式会社トライウイン
＜修理・お問い合わせ窓口＞
トライウイン・サポートセンター
〒 331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677
TEL　：(0570)-030-100
E-mail　：support@trywin.co.jp
受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）10:00 ～ 18:00